

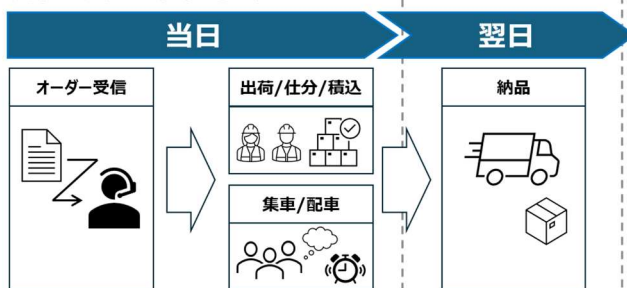
冷凍食品における共同配送のリードタイムを1日延長へ

法令を遵守しつつ、安定した物流を継続するために

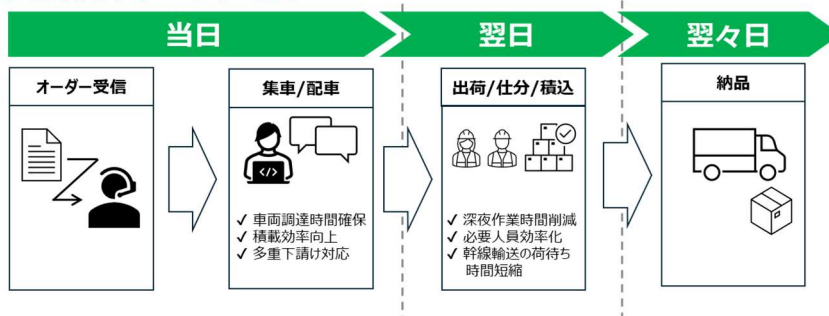
SGホールディングスグループにおいて、低温物流事業を担う株式会社C&Fロジホールディングス(本社:東京都新宿区、代表取締役社長執行役員:綾宏将)の主要な事業会社で、冷凍食品を中心とした低温食品物流企業である株式会社ヒューテックノオリン(本社:東京都新宿区、代表取締役社長:安喰徹、以下「ヒューテックノオリン」)は、2025年6月より冷凍食品の共同配送(※1)において、出荷指示の受信日(以下「オーダー受信日」)から、納品先への納品日(以下「納品日」)までの日数(以下「リードタイム」)を、従来「翌日」としていたものを、全て「翌々日」に変更する方針といたしましたので、お知らせいたします。

※1: 共同配送とは複数の荷主(主に食品メーカー)の商品を共同で保管し、混載して納品先(主に卸商社や小売業の物流センター)へ共同で配送するサービスのこと。特定の小売業向けのチェーンストア物流や、医薬施設・福祉施設・保育施設へのヘルスケアフード物流は含まない。

■ 現在のリードタイム



■ 変更後のリードタイム



近年の物流業界をとりまく環境は、働き方改革関連法によるドライバーの時間外労働時間の上限規制のため、輸送能力の低下が懸念される、いわゆる「物流 2024 年問題」や、物流の適正化・生産性向上に向けたガイドラインによる、荷待ち時間や荷役作業等時間を 2 時間以内とするルールの実行など、社会インフラである物流を維持すべく、大きな変化が求められております。

しかし絶対的な労働人口の減少もあり、物流業界では慢性的な労働力不足が続き、トラックドライバーの労働時間を確保するために、配送の前作業である商品の仕分け・積み込みや、配送のための集車・配車手配に掛けられる時間が否応なしに少なくなっています。特に深夜時間帯の作業においては人材不足が顕著な状況です。

ヒューテックノオリンでは厳格な温度管理が必要な低温食品物流を持続可能なものとし、安全・安心な食のラインを守るため、これまでも従業員の処遇および職場環境の改善や、機械化・システム化による省力化、また、主力事業である冷凍食品の共同配送の拡充により、効率的な物流を実現してまいりました。

しかし自社のみでの取り組みには限りがあり、その効果も限定的とならざるを得ないため、荷主企業の理解と協力のもと、冷凍食品の共同配送におけるリードタイムを2025年6月2日より、1日延長させていただく方針といたしました。具体的にはオーダー受信日の翌々日を納品日とすることで、出荷・仕分けの作業を深夜時間帯から日中に変更し、配送車両やドライバー手配の許容時間を増やして、より混載の組み合わせを可能とすることで、以下の効果の創出を図ってまいります。

(1) 庫内作業の軽減

- ・ 深夜時間帯の作業量を50%削減
- ・ 日中時間帯における仕分け作業の実施
- ・ 雇用機会や採用可能性の拡大

(2) 営業事務作業の軽減

- ・ 車両調達時間延長による確保力向上
- ・ 多重下請けの回避

(3) 配送の最適化

- ・ 混載率や配送ロットの向上による使用車両台数の圧縮
- ・ ドライバーの拘束時間を考慮した配車の確立
- ・ 幹線車両台数の集約による荷待ち時間の削減
- ・ 車両台数集約によるCO₂排出量の削減
- ・ 確定物量での配車による予備車両の削減

移行準備期間 : オーダー受信日が、2025年1月1日～2025年5月31日

切替日 : 2025年6月2日(月)オーダー受信日より

なお、遠隔地など従来よりリードタイムが2日以上あった荷主については、個別の対応となります。詳しくは当社営業社員よりご説明申し上げます。

以上

SGホールディングスグループは、純粋持株会社SGホールディングス株式会社と、その傘下にある佐川急便株式会社をはじめとした事業会社で構成された総合物流企業グループです。

<報道関係お問い合わせ先>

株式会社 C&F ロジホールディングス 広報 IR 部

tel:03-5291-8100 fax:03-5291-6150 mail:cf-ir@cflogi.co.jp